

吉林省檔案館
廣西師範大學出版社 編

日本關東憲兵隊報告集（第一輯）2

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

佳木斯宪兵队思想对策月报(昭和十八年十一月五日)	〇〇一
佳木斯宪兵队思想对策月报(昭和十九年二月五日)	〇九五
哈尔滨宪兵队一般日鲜满蒙人思想状况报告(昭和十四年三月十六日)	一一六
哈尔滨宪兵队思想对策月报(昭和十五年二月十四日)	一四八
哈尔滨宪兵队思想对策月报(昭和十五年三月十五日)	一六七
哈尔滨宪兵队思想对策月报(昭和十六年六月十日)	一八五
哈尔滨宪兵队思想对策月报(昭和十八年一月一日)	二〇五
哈尔滨宪兵队思想对策月报(昭和十八年三月三日)	二六〇
哈尔滨宪兵队思想对策月报(昭和十八年七月九日)	二八五
哈尔滨宪兵队思想对策月报(昭和十八年十二月九日)	三二七
哈尔滨宪兵队思想对策月报(昭和十九年二月九日)	三七三
延吉宪兵队思想对策月报(昭和十五年二月十二日)	四二九
延吉宪兵队思想对策月报(昭和十五年二月)	四四七
延吉宪兵队思想对策月报(昭和十五年三月十二日)	四六三
延吉宪兵队思想对策月报(昭和十五年十一月八日)	四六四

本年十一月五日
憲高第廿二號

水月報

(十一月分)

斯盧其家



接冬
急米
乙

目次

- 一 要旨
- 二 東北蒙匪
- 三 概況
- 四 蟠踞分布狀況
- 五 策動狀況
- 六 民族動向
- 七 流亡言
- 八 其他

本期中管内東北黨匪策動二關
新報云得入

於八月十月下旬日富同縣境附
二路軍系匪肅正工作實施中
在迄特異事象云

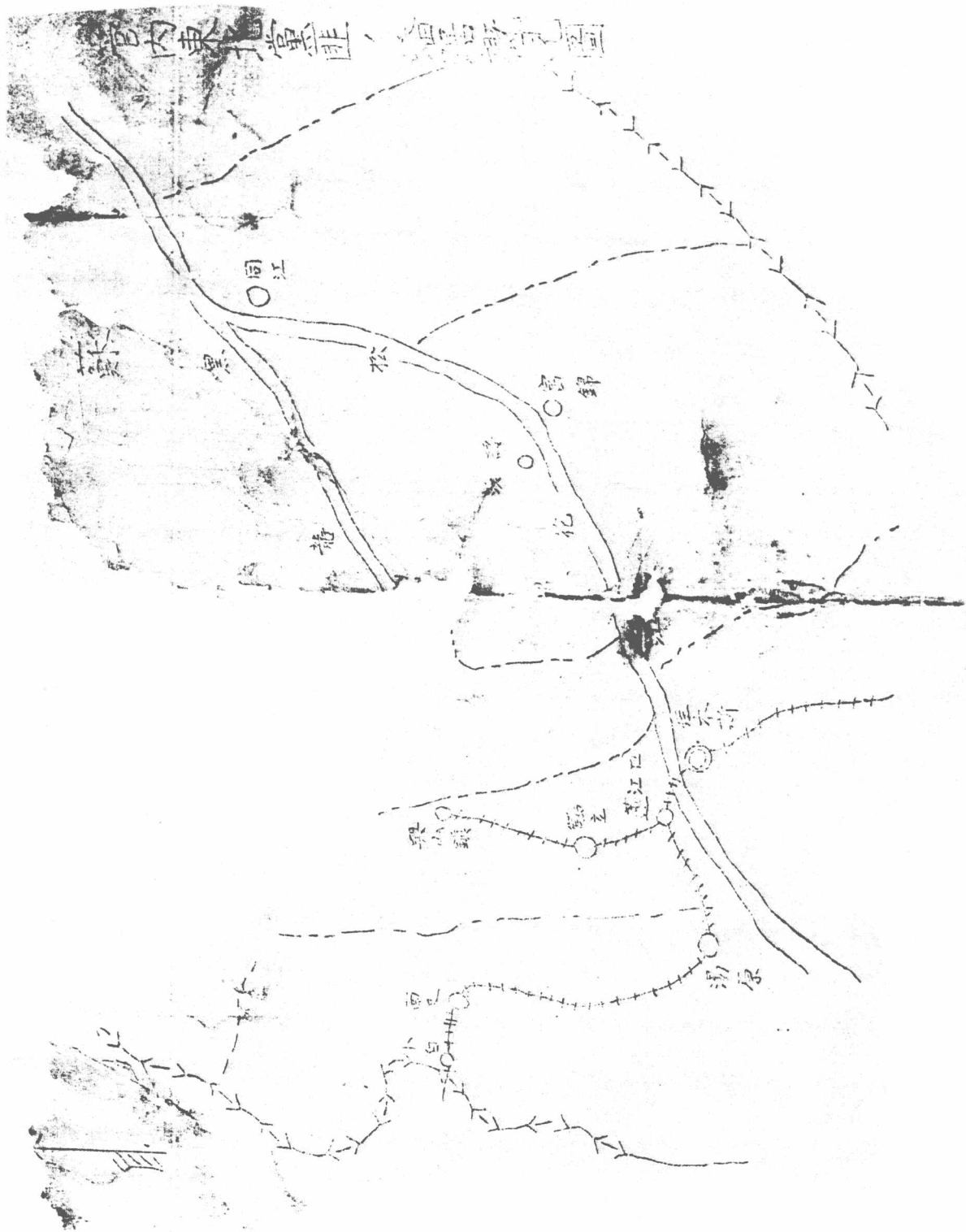
緊肅之諸施策二即應
國佳木斯號獻

依然前觀察豫想鈔視
乃至八移動ヲ豫想鈔視

戶十五日ヨリ富錦縣警務科ニ於
同江縣境及東安省境附近
二對シ林哲族ヲ以テ組織セル持搜班ヲ
編成第二路軍系匪ノ肅正工作ヲ實
施中ナルカ未タ成果トシテ見ルヘキモノナシ
一系統匪數並蟠踞分布狀況

省別	縣別	地別	系統	匪首	匪數
湯原縣	小白地區	第三路軍	馬克政	三一四	

會同縣志圖、莊堂東內宮



策動状況

備考 本匪數ハ情報ニ依ルモノヲ計上ス

江省	
同江縣境	同江縣境
寶清縣境	寶清縣境
七星河地區	七星河地區
第二路軍	
劉雁來	楊青海
一〇	二〇

月日	場所	系統匪首數	區分	概況	損害
	縣稻田地	不明匪六	出	上記地ニ出現何レカニ逃走セリ の判断 夏期中湯原鉄麗 縣内ニ活動中ノ三路	ナシ

類似

民族動向

緊張セル事象

④ 各民族

愛國佳木號献納運動

不斯市民ノ決戦氣運ヲ航空機献納ニ

愛國佳木號ノ献納スヘク市公署協和

三江日日新聞ヲ中心トナリ十一月一日ヨリ之

カ運動ヲ實施シアルカ各民族共ニ本主旨ヲ認識

カ力シアリテ月末現在迄ノ献金十五萬三千四

十九圓五十五錢ニ達シアリ

又十月中ニ於ケル主要事象ニ對スル反響言

分月人員

概

況

日寸月上旬

鮮原 軍ノ撤兵及北支駐兵權ノ拋棄ハ

尚二十ハカスモノ多ク滿蒙ハ尙敵軍ノ

正合中滿警備隊

警備捕ス

十五天恭丸不法射擊也

死體ヲ發見ス

八月軍事營造物内ニ野火類

憲兵檢證シタルモ謀略的容疑ナシ

其江省出荷狀況ハ十一月三十日現在中

大割當量ハ三ノ二達シ尚概ハ順正

トアリテ民心特ニ憂慮的事象ヲ認

用	鏡	行	起
現			
軍	水	企	非
匪	ヲ	圖	ス
力	待	移	ヤ
建	テ	動	ト
龍	ハ	ニ	モ
江	シ	タ	思
結	ヲ	ル	料
		モ	ヤ

同駐屯満軍少士以下三名ハ十一月
 某二日逃亡入ゾラ企圖シタルモ兵ノ密告
 部隊側ニ於テ逮捕憲兵ハ満軍
 力北月後關係ニツキ究明中

同 盟 條 文

佐木新

下 般

北 平 議 定 書

本 議 定 書 撤 退 フ ト 雖 亦 何 等 カ ノ 理
返 セ サ ル ヘ シ ト ノ 提 測 勿 言 動 ヲ 設

主 ナル 言 動 ヲ 舉 グ レ ハ

日 鮮 人

今 回 ノ 條 約 ノ 同 慶 ノ 至 リ ク カ 汪 政 権 ノ 政 治 力

ニ 兎 角 ノ 風 評 ア ル 今 日 所 期 尚 早 キ 感 ア リ

戰 争 ノ 現 狀 ヨ リ シ ニ 北 支

駐 兵 権 ノ 喪 失 ハ 手 期 尚

如 何 ニ 對 ス 完 全 後 退 雖 兵 隊 ノ 撤 退 ハ 今

ニ 對 シ 過 大 ノ 措 置 ニ 非 ラ ス マ 幾 多 等

其 撤 退 ニ 對 シ 相 濟 マ ス コ ト ハ ナ イ カ

滿 洲

日 本 ノ 撤 兵 ハ 莫 シ 日 本 カ 領 土 ノ 野 心 カ 無

シ 然 レ 亦 明 ス ル モ ノ デ 之 ニ 依 ツ テ 極 強 國 モ 意

シ 六 戰 争 ニ 協 力 ス ル コ ト タ ラ ウ

日 本 軍 力 中 國 ヨ リ 撤 退 ノ ル コ ト ハ 新 中 國 フ

島嶼

佳木斯
月中旬

完全ニ獨立セシメラルコトヲ曰ク日本ノ道義ニ基クモ

ノナリ
○戦事完遂後ニ於テモ日本軍ハ中國ヲ獨ニ能

カカ無イトカ諸般ノ情勢カ尙ハ權ナリ等
何等カノ理由ヲツケテ撤兵セサルコトナキヤ

一般ニ近時稀ニ見ル大戦果ナリト

第一線將兵ノ偉勲ト其勞苦ニ對シ感激

ノ意ヲ表シ國民志氣亦益々昂揚シタルカ

一部滿人間ニ依然然敵側ノ經濟力ヲ自信シタル

者アリ
主ナル言動

曰鮮系

○今回ノ大戦果ハ世界ヲ驚嘆、サセタコトヲ云フ

如斯大戦果ハ皇軍ノ燃ユルカ如キ戰鬪精

神ト技術カ優越セル證ナリ

由ラントナク戦果ノタメニ道一層戒心

増大セハナラズ

軍一伴又御

華北 十月 中旬
労働 鶴立 縣 鶴
入 満 立 炭 産
系 止
反 省

開拓 十月 四日
地 佐 木 新
民 官 民 館
名

戦急 軍 以来 米軍 ハ 主カヲ用ヒテス駐
軍ヲ充テアリ 最近ニ到リテ漸クニ主ハ
ソク様々如何ニ多敷ノ軍艦ヲ撃沈シタ
ツテモマクノ 米軍ノ 戦力ハ大ニタモノタ
(平流層)

鶴岡 労働 社会 社 米軍 ハ 労働 エフハ口名ハ
満セラル 計 主カ 甲 乙 人カ不能トナリタルタ
政府 要求 ノ 出カ 量ニ影響アリト 爾後 米
策ヲ考究中ナリ

原因
詳細ナラサルモ 該地ニ於ケレコレラ 傳
防上ノ 爲ニ非ズヤト 思フ村サレアリ

三 江 米 運 國 十 周 年 紀 念 事 業
件 總 急 辟 除 幕 三 東 宮 大 佐 軍 死 七 回
年 式 典 ト 併セ 實 施 シ 開 拓 政 策 ニ 對 スル
要 義 ニ 昂 昂 セリ

特選 有二十日
特別 蘭縣
訓練 廿(縣系)
長名

④ 舞 久

二、三
依前縣依
前佐子
三、四名

二、二
右同
四、五名

二、二
佳木
國防

協和會才三、江省本部三、八省、
練所ヲ依蘭縣協和會本部、
明年度受驗舞系六、八名ヲ右宿セ、
訓練ヲ實施中

街頭ニ於テ報念ヲ芳集ニ、
國防献金セリ

素人演藝團ヲ組織、
問ヲ實施ス

駐屯大九六部隊(陸軍六、
ヲ佳佳中ノ演藝團ニ招待セリ

創作、
三、四、
名、
實施中

ワ 朝鮮總督府會ノ三江省中興大車頭ヲ總務部ニ移シ

人ニ對スル慰安

白馬所

概

流

十月三十四日
鶴之森鶴

從業二人ノ修養慰安ヲ曰ハト云人曰ク
長年所見信實ナリ

白系露人

管内白系露人ハ當局ノ適切ナル指導ニ依リテ

時局ヲ認識轉ニ本東亞戰果ニ對シテハ曰本ニ對シ

テ絶大ナル信倚セテ有シ且諸施策ニハ積極的ニ協

力スラリニ憂慮スルハ事象ナシ

至協力の事象ヲ舉グルハ次ノ如シ